

■地区の概況及び事業の目的

鷹取東第一地区は、神戸市の中心市街地である三宮から西へ約7kmに位置し、JR鷹取駅の南東に広がる区域です。震災前は、鷹取商店街を中心とした商店と戦前長屋等からなる利便性の高い、いわゆる「下町」のまちなみを形成していました。しかし、狭小住宅の集積、住宅の老朽化、道路・公園等の公共施設が極めて不足しているなどの課題を抱えていました。当地区は、今回の地震でほぼすべての建物が焼失するという大きな被害を受けました。早期の復興及び安全・安心で快適な市街地整備のため、震災復興土地区画整理事業を実施しました。

■復興まちづくりの経緯

- <平成7年>  
7月2日/「鷹取東復興まちづくり協議会」設立  
11月30日/ 事業計画決定
- <平成8年>  
11月5日/ 地区計画決定  
8月28日/ 仮換地指定開始
- <平成12年>  
4月1日/ 海運双子池公園 完成
- <平成13年>  
1月21日/ 日吉町ひだまり公園 完成  
2月25日/ 若松鷹取公園 完成  
2月21日/ 換地処分

■地区諸元と事業計画の概要

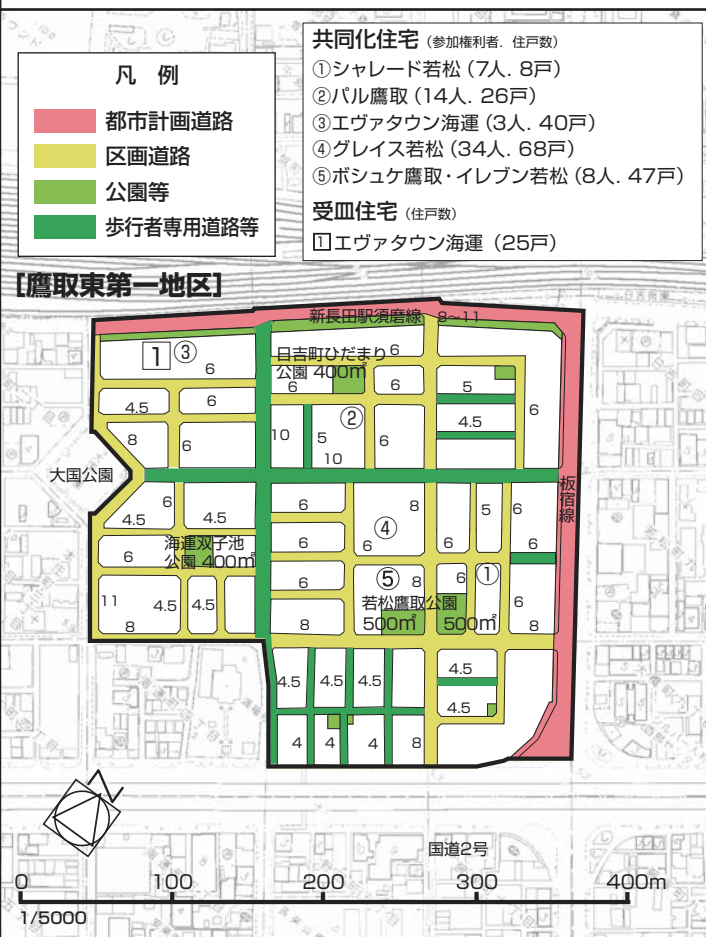
		鷹取東第一地区
地区面積		8.5ha
震災前 状況	人口・世帯数	2,051人・905世帯
	建物棟数	550棟
被災 状況	全壊数	494棟
	半壊数	40棟
	被災率	97%
事業計画決定		平成7年11月30日
減歩率		9%
総事業費		約100億円



震災前 平成6年5月



震災後 平成7年5月



■地区の概況及び事業の目的

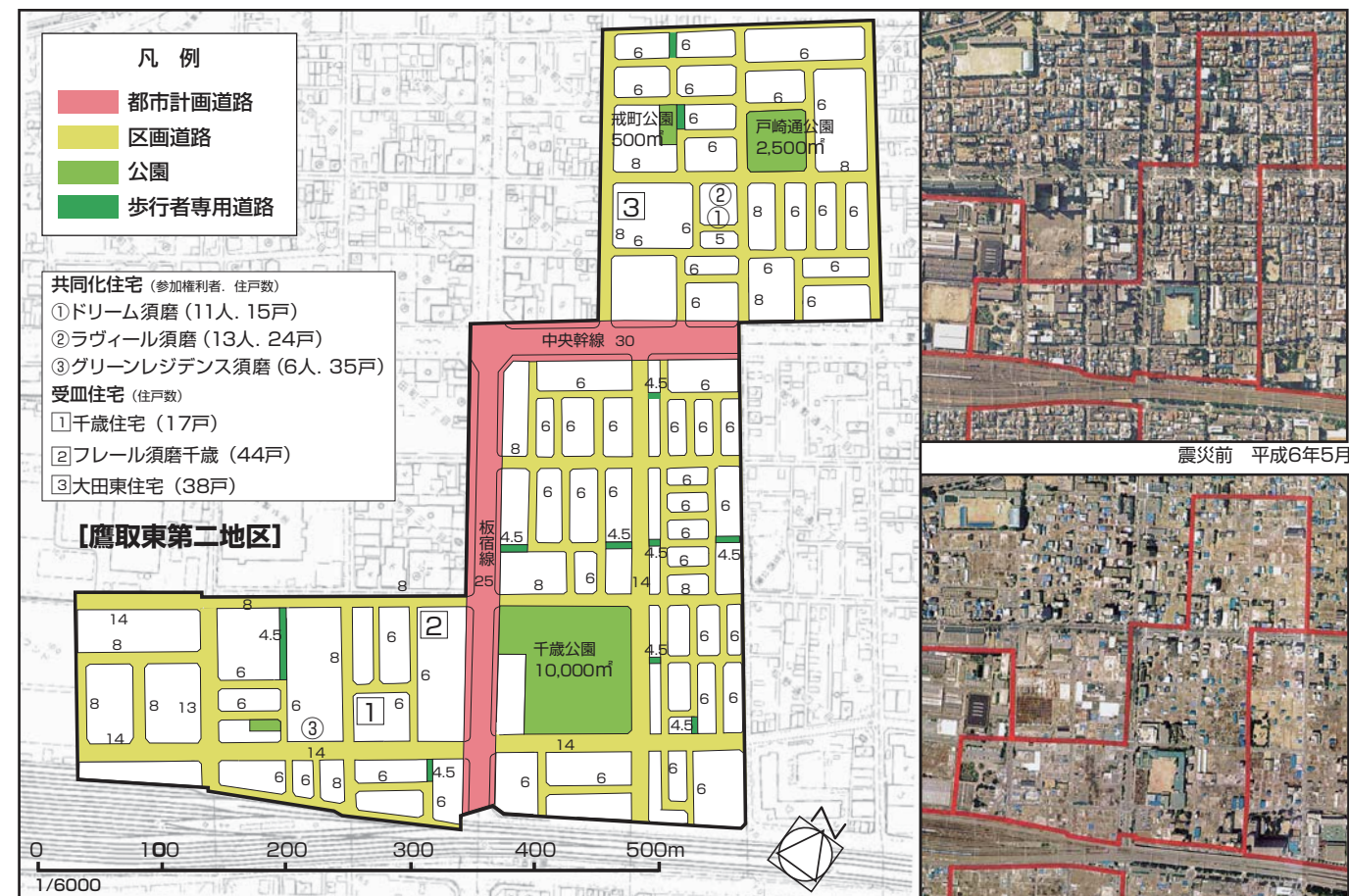
鷹取東第二地区は、神戸市の中心市街地である三宮から西へ約7kmに位置し、東側を新長田駅北地区の新長田北エリア、西側を同鷹取北エリアと接し、南側にJR山陽本線、北は中央幹線の南北にまたがる地区です。震災前は、住宅を中心に、商業・業務及びケミカルシューズ等の工業施設が混在しており、教育施設等も立地するなど、コミュニティ豊かな生活環境を有した地域でした。しかし、狭小住宅の集積、住宅の老朽化、道路・公園等都市基盤の不足などの課題を抱えていました。当地区は、今回の地震で約9割の建物が大きな被害を受けました。早期の復興及び安全・安心で快適な市街地整備のため、震災復興土地区画整理事業を実施しました。

■復興まちづくりの経緯

- <平成7年>  
7月9日/「千歳町4丁目まちづくり協議会」設立 (9月15日、「千歳町4丁目・常磐町4丁目合同まちづくり協議会」となる) (平成8年2月25日までに10地区で設立)
- 10月15日/「千歳地区連合まちづくり協議会」設立  
12月7日/「千歳町4、常磐町4丁目合同まちづくり協議会」まちづくり提案を神戸市に提出
- <平成8年>  
9月25日~10月25日/ 全協議会より地元まちづくり提案を神戸市に提出  
11月5日/ 都市計画変更 (区域拡大: JR鷹取工場跡1.6ha)  
12月27日/ 都市計画変更 (千歳公園)
- <平成9年>  
3月5日/ 事業計画決定  
9月6日/ 仮換地指定開始  
11月27日/ 地区計画決定 (板宿南)
- <平成10年>  
3月2日/ 地区計画決定 (千歳)
- <平成17年>  
4月25日/ 千歳公園 完成
- <平成20年>  
3月24日/ 換地処分  
5月3日/ 戸崎通公園 完成

■地区諸元と事業計画の概要

		鷹取東第二地区
地区面積		19.7ha
震災前 状況	人口・世帯数	3,698人・1,734世帯
	建物棟数	1,196棟
被災 状況	全壊数	1,034棟
	半壊数	49棟
	被災率	91%
事業計画決定		平成9年3月5日
減歩率		9%
総事業費		約361億円



震災前 平成6年5月



震災後 平成7年5月